

科目名 Subject Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
ネットワーク組織論 Communication network		1年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態		授業の性格	
2単位	講義	選択		
当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目				
特になし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス	
稲見 崇 司	本館2階	授業中に指示します	授業中に指示します	
授業の概要				
何気なく利用しているネットワークの技術的な側面や、日々進化しているその賢い活用方法の現実的な姿を学習する。				
授業の到達目標				
①情報通信ネットワークの基本的仕組みを理解できるようにする。 ②ネットワーク社会での生活において、賢い情報通信利用の基本的方法を修得できるようにする。 ③ネットワーク社会での業務において、賢い情報通信利用の基本的方法を修得できるようにする。 ④情報通信ネットワークの進化による生活と仕事の変化への速やかな適応力を身につけるようにする。 ⑤情報通信ネットワークを主体性を持って利用したり活用したりするための考え方を身につけるようにする。				
授業の方法				
ネットワークの見えない部分を、ビデオ映像などを利用してできるだけわかりやすく説明します。				
学習の成果				
①情報通信ネットワークの基本的仕組みを説明することができる。 ②ネットワーク社会での生活において、賢い情報通信利用の基本的方法を修得することができる。 ③ネットワーク社会での業務において、賢い情報通信利用の基本的方法を修得することができる。 ④情報通信ネットワークの進化による生活と仕事の変化への速やかな適応力を身につけることができる。 ⑤情報通信ネットワークを主体性を持って利用したり活用したりするための考え方を身につけることができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	授業のガイダンス			
第2回目	ネットワークとは？ 1 (生命組織(神経の仕組み)との対比、光ファイバー)			
第3回目	ネットワークとは？ 2 (ネットワークトポロジー、通信エンジニア、通信路・海底ケーブル)			
第4回目	ネットワークの情報処理 (郵便配達との対比、パケット、情報量)			
第5回目	ネットワークの規約 1 (プロトコル、ルーター、動的ルーティング)			
第6回目	ネットワークの規約 2 (OSI、TCP/IP、SMTP)			

第7回目	インターネットを支える技術 1 (モデム、ADSL、FTTH、ハンドオーバー、IPv4、IPv6)		
第8回目	インターネットを支える技術 2 (待ち行列理論、利便性と経済性)		
第9回目	ネットワークの利用 1 (無線LAN、ホットスポット、CDM、ストリーミング、クローラ)		
第10回目	ネットワークの利用 2 (オンデマンド、パーソナルサーチ、ページランク)		
第11回目	ネットワークのセキュリティ管理 1 (ウィルス、なりすまし、ボット、クラック、フィッシング詐欺)		
第12回目	ネットワークのセキュリティ管理 2 (フィルタリング、デジタル署名、暗号化、公開鍵方式、SSL)		
第13回目	ネットワークの最新動向について 1 (ソーシャルエンジニアリング、ゼロデイ、ハニーポット)		
第14回目	ネットワークの最新動向について 2 (ネットインフラの進化、ネットコンテンツの進化、利用形態の進化)		
第15回目	まとめと試験		
成績評価の方法と基準			
	評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度			
レポート	20%		授業開始一回目にレポート用紙を配布し、記名の上回収するが、その後の授業の内の9回の授業時間の終了前に、授業の内容について指定した部分を記述し提出する。満点となる条件は授業で説明する。
調査報告書			
小テスト	10%		15回の授業の内の数回で、授業の内容理解の小テストを行う。満点となる条件は授業で説明する。
中間・学期末試験	70%		シラバスに沿った授業内容を概ね網羅した理解度テストとして、学期末に試験を行う。試験時は各自が作成したノートとレポート用紙のみ参照可とする。満点となる条件は授業で説明する。
発表内容 (態度含む)			
その他			
教科書と参考図書			
授業で適宜資料プリント等を配布する。			
履修上の心得・ルール			
必ず当授業用の独立したノート(他の科目と一緒にのノートとしないこと)を各自用意し、毎時間しっかりと授業内容を記録すること。			